

研修医通信 Vol. 85

2017年12月号

三重大学医学部附属病院 間瀬 陽子

今月から外科で研修させて頂いています。学生の実習の時以来の外科ということもあってとても新鮮な毎日です。

外科は来年の3月まで計4カ月研修させて頂く予定ですが、2年間の研修で一番長い期間になる予定です。指導医の方々から少しでも多くのことを吸収し成長できればと思っています。

また、4階病棟のスタッフの皆様にもとても温かく迎えて頂いており、とても働きやすい環境で感謝しています。

12月は院内のXmasコンサートも聴かせて頂いてXmas気分を味わえました。あっという間に1年が過ぎてしまいましたが、2018年もまたどうぞよろしくお願い致します。



三重大学医学部附属病院 岡 知加

2か月間の内科研修が無事終了致しました。指導医の小野先生をはじめ先生方、病棟および外来の看護師さん、技師さんなど沢山の皆さんに本当にお世話になりました。

沢山の仕事を任せて頂きながら、必要な知識と技能、責任を負うような場面もありました。この2か月間の研修はとても短く、他の研修では得られなかった実感や体験が沢山ありました。

今月は紀和診療所と神島診療所の2つの診療所を訪れ、より狭いコミュニティでの医療と連携を研修することができました。これらの経験を活かし、総合的に見る医師になるため精進します。専門医を身に着け将来的には三重の地域に関わろうと考えておりますので、今後どうかよろしくお願い致します。2か月間ありがとうございました。

東京大学医学部附属病院 佐野 和晃

1ヶ月間の研修を充実して過ごすことができ、お世話になった先生方、職員の方々、住民の方々に感謝申し上げます。特に指導医の増田先生には手技のやり方や抗菌薬選択の考え方など様々なことを教えていただき、勉強になりました。

大学病院のように内科が臓器別に細分化されていると、すぐ専門科に相談という形になりやすいですが、内科という枠組みで幅広い疾患を同時に見るというのは貴重な経験になりました。

また80代、90代の方が多く入院されており、高齢の方にどこまで精査をするのかという点や、経口摂取できなくなった場合にどうするかという点について考えさせられました。

業務外の時間では、忘年会に参加したり、上級医の先生にボルダリングや温泉に連れて行っていただいたりと楽しく過ごすことができました。また歴史が好きなので、花の窟神社や熊野三山など歴史の息遣いが感じられる場所を訪れることができたことも印象的でした。

将来的に医療政策の分野で研究をしたいと思っており、今回の経験を今後活かしていきたいと思っています。



三重大学医学部附属病院 杉岡 直弥

11月から内科で研修させて頂いている杉岡です。僕は紀南病院では7カ月間研修させて頂く予定なのですが、最初は長いと思っていた7カ月のうち5カ月が経ち、気付けば残すところあと2カ月となりました。12月はまた研修医が4人に増え、にぎやかになりました。

個人的には内科での研修が始まり2カ月が経ちましたが、まだまだ知識や経験が足りないことばかりで、治療方針などについても悩んでしまうことが多いです。また、点滴や検査のオーダー、指示簿の入力など遅くなってしまうことも多く、病棟の看護師さんにも迷惑をかけてしまうことが多く申し訳ないです。

今後、少しでもそのようなことを減らしていけるように頑張ります。2月までの残り2カ月間、よろしくお願い致します。